
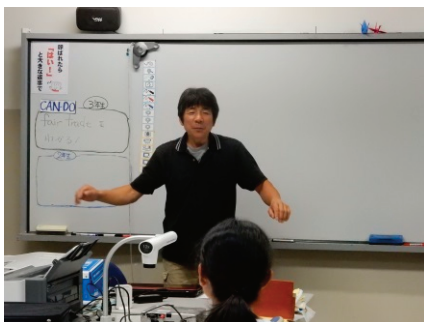


# 3

## SDGs達成に向け、森でアクションしよう！ ～木を植え、育て、共に暮らす～

主催団体	特定非営利活動法人水守の郷七ヶ宿 連絡先：〒989-0532 七ヶ宿町字根添 26 番地 1 担当者：海藤 節生 ☎ 0224-37-2171 e-mail <a href="mailto:mmmnet7@yahoo.co.jp">mmmnet7@yahoo.co.jp</a> URL <a href="http://www.mizumori7.org/">http://www.mizumori7.org/</a>	
体験活動	SDGs 目標 15 陸の豊かさを守ろう！について、体験を通して学ぶ	
ねらい	森は温暖化の元となる二酸化炭素の吸収源であると同時に、水源かん養、土砂の崩壊防止、生物多様性など多面的機能を担っていることを身近に感じる	
時間	90分（45分×2）	
対象学年	小学4年生～6年生	
関連教科等	4年生 社会：水はどこから 5年生 社会：わたしたちの生活と森林、 これからの工業生産とわたしたち 5年生 理科：植物の発芽と成長	6年生 社会 政治・国際編：世界の未来と 日本の役割 6年生 理科：地球に生きる
対象人数	1クラス（40人まで）、引率教師最低3名必要（1名は救護用車担当）	
授業形態	現地での体験活動	
場所	七ヶ宿町根添 26 番地内山林 名取市ゆりが丘 4-10-1（尚絅学院大学の学校林） ※学校敷地内（近隣）の立木で行うことも可能です。	
時期	通年	
準備物	児童：長袖ズボン・シャツ（半袖不可）、帽子、長靴、軍手、水筒	教師：児童と同じ
留意事項		
備考		

### 【活動の様子】



## プログラムの流れ（学習指導案） 90分

学 習 活 動	時 間 (分)	主催団体及び教師の役割	
		主催団体の役割	教師側の役割（最低3名）
1 本時の課題を確かめる	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己紹介</li> <li>・みんなが大切だと思うものをそれぞれ交えた自己紹介を行う。</li> <li>・環境・経済・社会の三側面から持続可能性について講話を行う。（森を中心として1万年以上続いた世界遺産縄文文化にも触れる）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○点検と確認</li> <li>・現地でバスを降り整列、主催者側と挨拶する。</li> <li>・服装、準備物の再点検</li> </ul>
2 森を活動場所まで歩く	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容や場所の特徴を説明し、安全のための注意を促してから</li> <li>○森を感じる。（見る、聞く、匂い、触るなど）</li> <li>※学校敷地（近隣）の立木</li> <li>・事前にチェックするが秋口は、スズメ蜂、蛇に注意させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者と共に先頭を歩き安全への配慮を行う。1名は最後尾に。</li> <li>・感じたことをポストイットに書かせる。</li> </ul>
3 グループワーク	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○森で感じたことを書き出す。</li> <li>・P4C (Philosophy for children) を用いる。</li> <li>・小グループ毎にファシリテーターを決め、感想を<u>収集</u>する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループ活動を指示</li> <li>・一箇所に集中しないようにする。（ソーシャルディスタンスの確保）</li> <li>・安全への配慮に気を配る。</li> </ul>
4 森林体験活動	40	<ul style="list-style-type: none"> <li>○枝打ちや伐倒作業を体験から学ぶ。</li> <li>・木は温暖化の元となる二酸化炭素を吸収し固定する、持続可能な資源であることを理解してもらう。</li> <li>・木づかいについてグループ毎に意見を<u>収集</u>する。</li> <li>【期待する効果】</li> <li>・木は生きて光合成により炭素を固定している。</li> <li>・森は人の手で育てていかなければならない。</li> <li>○枯れ枝を拾い実際に火を起こしてみよう！</li> <li>・森のエネルギーに触れる（火起こしが出来る）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教師は指導者の説明を受け事故防止の徹底に努める。</li> <li>・保護具の着用が徹底されているか？</li> <li>・使用しない刃物にきちんとカバーがついているか？</li> <li>・作業半径内に他のグループが立ち入っていないか？</li> <li>○児童の体調管理（適時の水分補給）に配慮する。</li> </ul>
5 元の場所に戻る	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自由に森で行動する。</li> <li>・薪割りや丸太切り体験</li> <li>・木の実やきのこの観察</li> <li>・スケッチ</li> </ul>	 <p>2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です</p>
6 グループワーク ・挨拶	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○森に入って3で書き出したこと、終わりに感じていることの変容について話し合い。</li> <li>○自然を守るために出来ることをグループごとに発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ名 森で感じたことから命名</li> <li>② 森で感じたこと</li> <li>② 森がすごいと思うこと</li> <li>③ 可能なアクション</li> </ul> <p>裏面に SDGs の 17 の目標を印刷した A4 のカード</p>